



徳島県同和地区青少年団体連絡協議会「止揚の会」の大湾さんによる講演



差別のない明るい社会を

平成23年度甲佐町人権教育講演会

3月3日（土）町生涯学習センターで、平成23年度甲佐町人権教育講演会が開催されました。同講演会は、すべての住民が心豊かに暮らすために、お互いの人権を尊重し合い、差別のない明るい社会の実現を目指すことを目的に、甲佐町人権教育推進協議会（赤星眞照会長）が主催。町民や社会教育関係団体、企業関係など、約140人が参加しました。

講師に、徳島県同和地区青少年団体連絡協議会「止揚の会」の大湾昇さんを招き、「出会いと表現」と題して講演を開催。大湾さん本人や家族の体験に基づいて、人権同和問題に対する思いや考え、人権教育に関して大切なことなどについて語りました。

大湾さんは「世の中には、無知が助長する差別があります。だからこそ、これからも人権問題については『知らない』を『知っていく』に変えていくことが、差別をなくするための手段だと思います」と話しました。

※講演の内容については、15ページの「人権」コーナーでご紹介しています。

情報を伝える能力を向上

熊日NIE研修会を町職員が受講

2月22日（水）・23日（木）町役場で、町職員を対象にした熊日NIE「新聞で考える」研修会が開催されました。

同研修は、熊本日日新聞社が主催する新聞を活用した人材育成研修。行政情報を伝える能力の向上を目的に、全職員が参加し、同社の越地真一郎委員を講師に迎え、「新聞で仕事力アップ」をテーマとした研修を受講しました。

越地委員は、「分かりやすく行政情報を町民などに伝える方法を、新聞の記事や見出しを参考に身につけてほしい」と話しました。



▲新聞記事をテキストとして、情報について学ぶ町職員



▲お茶の接待で1年間のお礼をする児童たち

体験学習を振り返って発表

平成23年度乙女小まつやま塾閉校式

3月2日（金）乙女小学校で、乙女小まつやま塾の平成23年度閉校式が開催されました。

同塾は、放課後に地域住民の参加協力を得て体験学習などに取り組み、地域社会で子どもたちをばぐむことを目的に、町教育委員会が主催。毎週水・金曜日に、乙女福祉ふれあいセンターを中心に活動しています。

閉校式では、児童たち一人ひとりが1年間の活動を振り返り、学習アドバイザーなどに発表。むかご飯作りや田植え、そうめん流しなど四季の自然を体感する活動や、お茶教室やお菓子作りなどの体験講座などについて、思い出を発表しました。また、同塾で習ったお茶の接待で、アドバイザーらにお礼を込めて、お茶を振る舞いました。

県内初の広域連携窓口

4町連携で消費生活相談窓口を開設

3月19日（月）県上益城地域振興局で、上益城4町の広域連携による「消費生活相談業務に関する協定書」調印式が開催されました。

4月から、本町、御船町、嘉島町、山都町の4町による連携で消費生活相談窓口を開設し、4町の住民は各町のどの窓口でも利用できる県内初の取り組み。奥名克美町長ら各町長などが出席し、協定書に調印しました。

本町では、毎週木曜日午前9時～午後4時に町老人いこいの家で窓口を開設し、専門の消費生活相談員が対応します。



▲協定書調印式で署名する奥名町長（左から3人目）



▲選抜大会出場の田上選手（右）と渡邊選手

本町選手が全国大会出場

渡邊未央選手・田上大貴選手

今春に開催された全国大会に、本町の高校生2人が出場しました。3月22日（木）から福岡県などで開催された平成23年度全国高等学校選抜自転車競技大会に、田上大貴選手（千原台高3年・下横田区）が出場しました。田上選手は、粘り強いレースで主導権を握る展開に持ち込むのが持ち味で、昨秋開催の県新人戦を優勝して出場権を獲得しました。また、3月24日（土）から香川県で開催された第15回全国高等学校少林寺拳法選抜大会に、渡邊未央選手（第一高3年・北早川区）が出場しました。渡邊さんは、昨年12月に開催された県大会での選考会で、出場権を獲得。週3回の練習を重ねて大会に備え、「女子単独演武の部」に演武を披露しました。

本町の商品をブランド化

甲佐ブランド「こうさんもん」認定証授与式



▲「鮎の甘露煮」、「にらメンコ」、「あゆもなか」、「ニラ包子」、「もろみ豆腐と焼き豆腐の味噌漬け」、「鮎の燻製」の6品目を認定

3月4日（日）町生涯学習センターで、甲佐ブランド「こうさんもん」認定証授与式が開催されました。

「こうさんもん」とは、本町で生産、または加工された食品や工芸品などを「甲佐町ブランド認定審査委員会」が厳正に審査し、本町の特性を生かした優れた商品としてブランド認定されたもの。町と商工会において、認定商品として広くPRし支援する取り組みで、商品の認知度とイメージ向上を図り、本町の産業を振興し、地域を活性化させるものです。

式典では、審査によって認定された6品目（「鮎の甘露煮」、「にらメンコ」、「あゆもなか」、「ニラ包子」、「もろみ豆腐と焼き豆腐の味噌漬け」、「鮎の燻製」）について、奥名克美町長から関係者に認定証を授与。また、4月から認定商品に添付されるブランドマークも発表。町木のキンモクセイ、町の自然、緑川の3つを、オレンジ・緑・青の3色でイメージしてデザイン化されたマークが商品に添付されます。

商品の認定有効期間は3年で、申請により更新されます。平成24年度以降についても、年に1度、認定審査委員会が開かれる予定です。